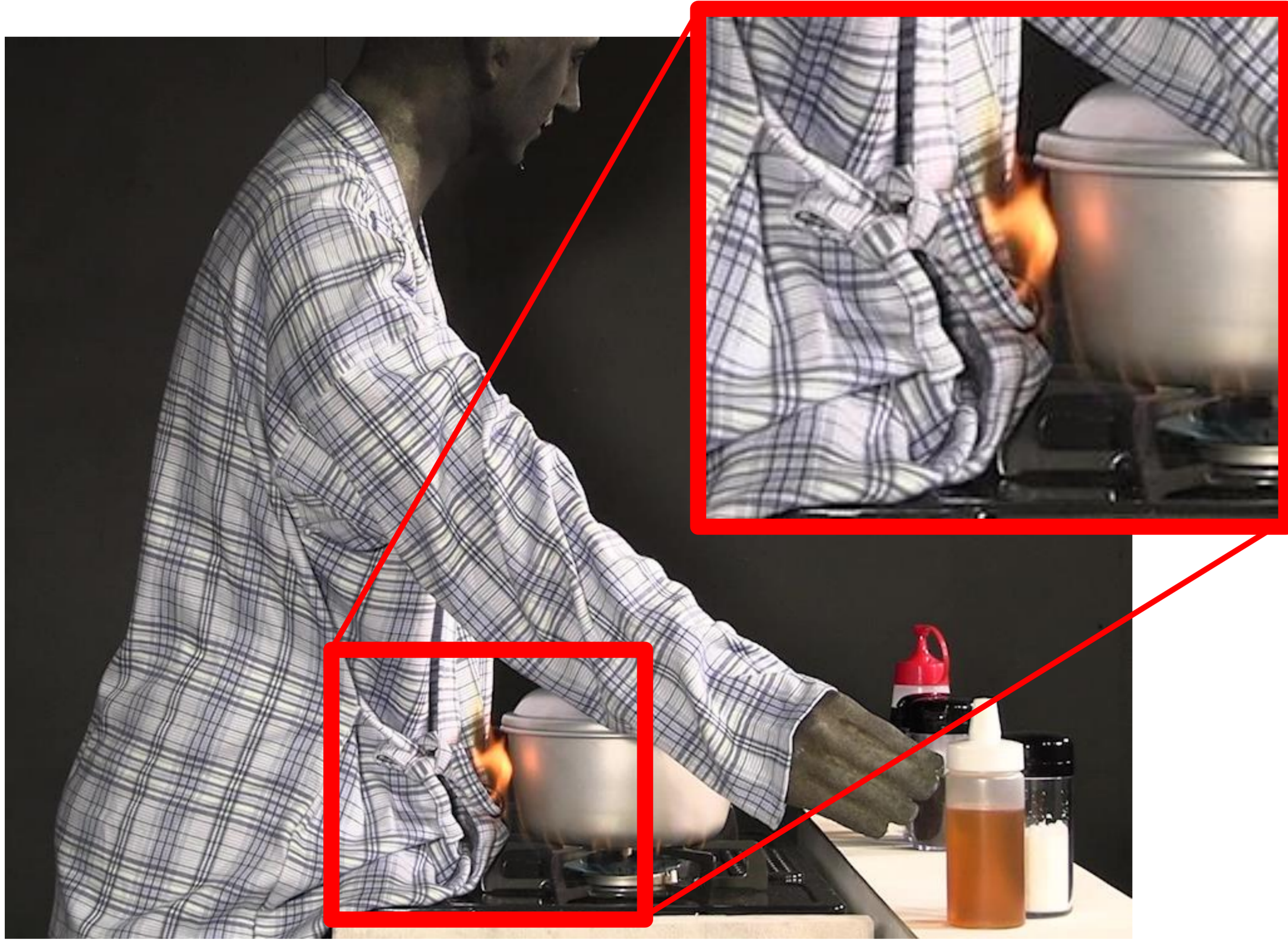


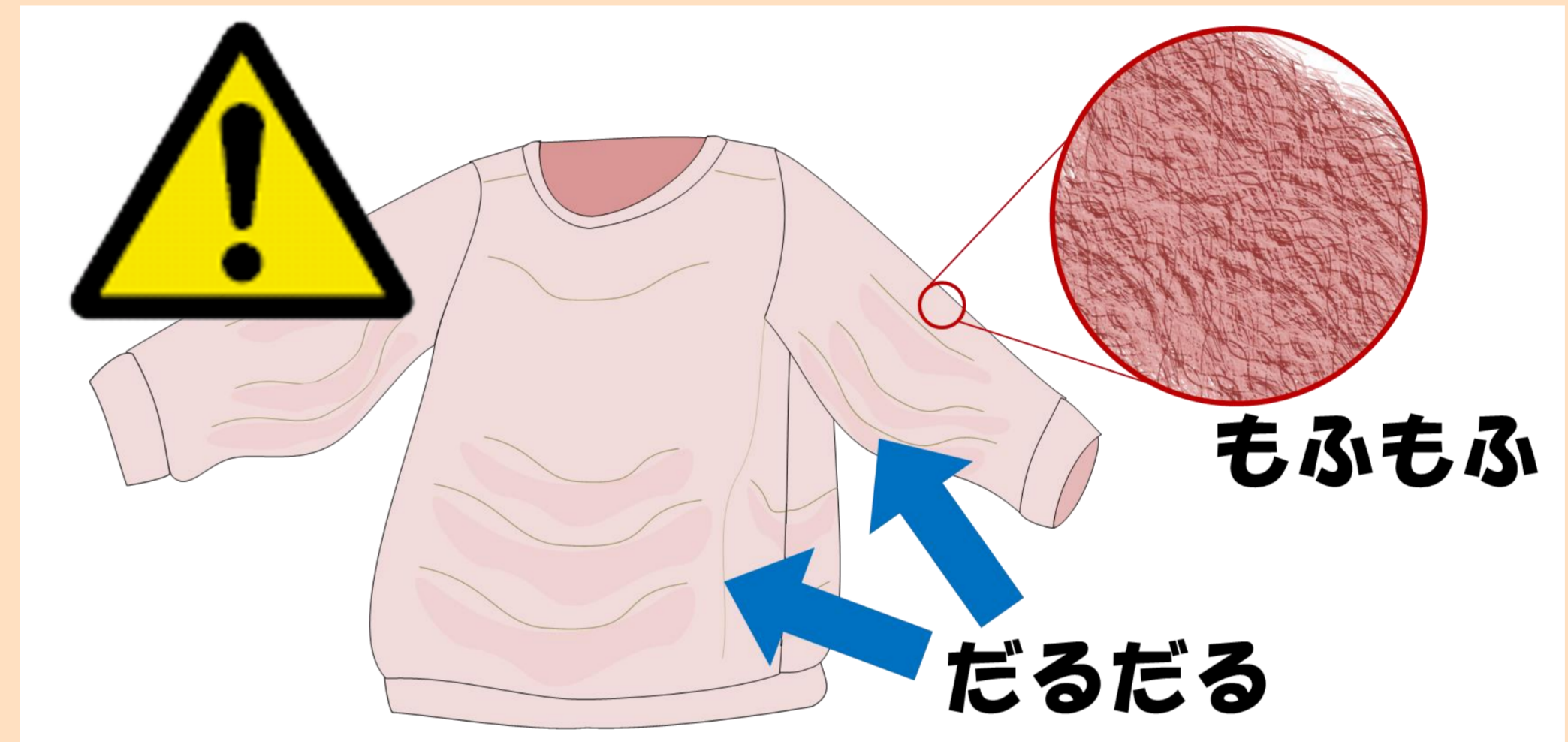
「着衣着火」の注意点



※画像上のすべての製品は、実際の事故とは一切関係ありません。

着衣着火を防ぐためのポイント

- ◆ガスコンロや電気ストーブ等を使用する際は、衣服と炎や熱源との距離を意識し、近づき過ぎない。
- ◆火を扱う際は、裾や袖が広がった“だるだる”“もふもふ”の衣服や紐付きの衣服などを避ける。

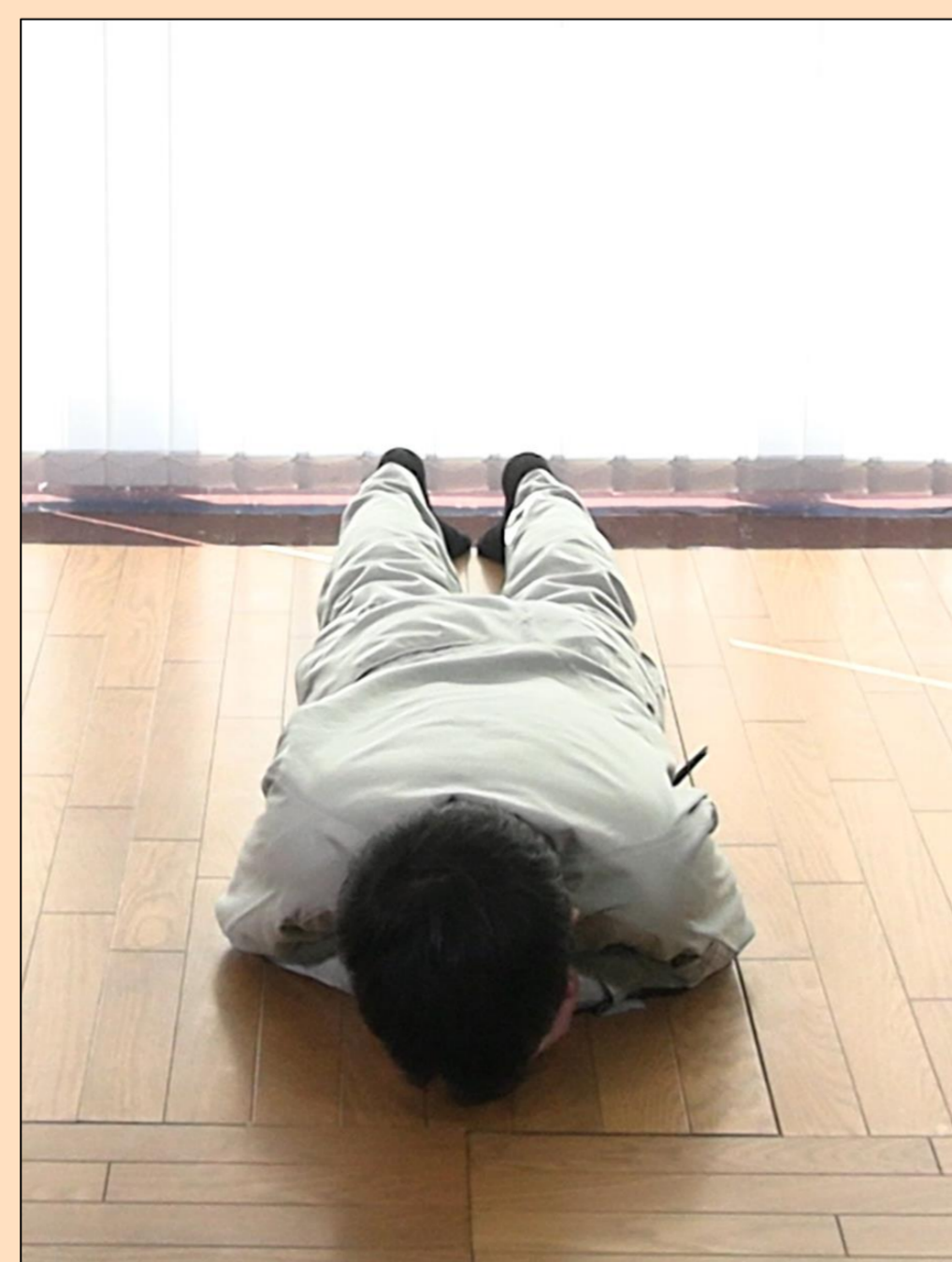


着衣着火が発生した際の対処方法

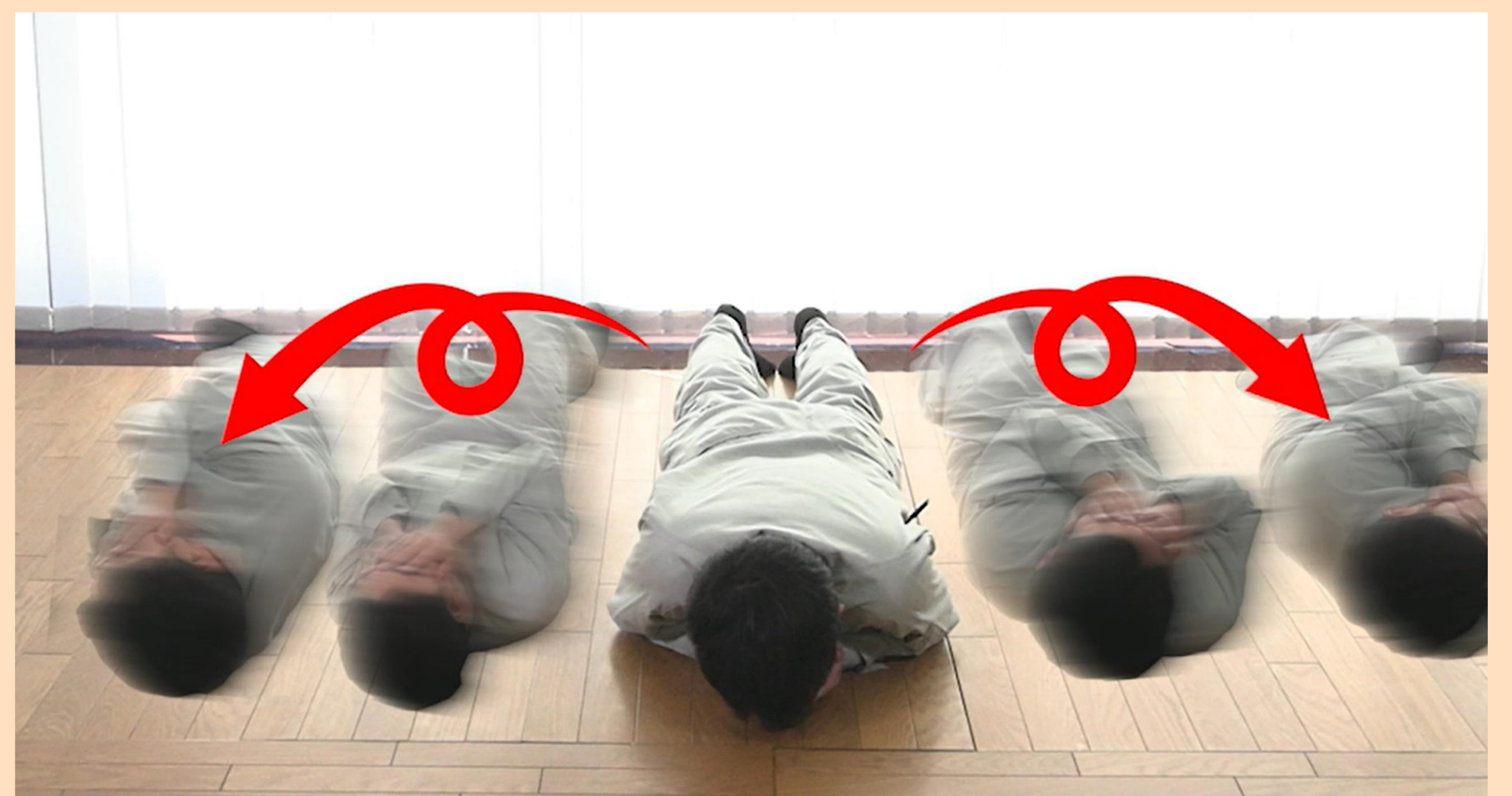
- ◆直ちに水や消火器で消火を行う（すぐ服が脱げる場合は脱ぐ）。
- ◆周囲の人に大声で助けを求める。
- ◆近くに水や消火器が無く、服が脱げない場合は、走り回らず（ストップ）、燃えている箇所を押しつけるように倒れ込み（ドロップ）左右に転がり（ロール）、消火させる。



ストップ



ドロップ



ロール